

大栄重機株式会社 DX 戦略

【はじめに】

デジタル化が急速に進み、社会が大きく変わりました。いまの時代、価値を生み出すにはデジタル技術の活用が必須となっています。そして、単なるデジタル技術の導入に留まることなく、さらに一歩進んだ構造改革、すなわちデジタルトランスフォーメーション（DX）が必要です。データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルの変革を図ること、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土をも変革し、競争上の優位性を確立することが求められます。

【IT システムの整備に向けた方策】

<基本方策>

当社の主要事業である土木工事を主体とした建設工事にあたって、IT システム・デジタル技術活用を常に念頭におきます。

<個別方策～想定されるデジタル技術活用の例>

◆建設工事におけるデジタル技術導入の可否の検討

- ・ ICT 工事への対応
- ・ BIM/CIM への対応

◆当社における一層のデジタル化の推進

- ・ 取引先等との Zoom を活用した面談
- ・ Chatwork 等のコミュニケーションツール導入による効率化推進
- ・ ペーパーレス化の推進

<個別方策推進のための環境整備>

- ◆当社 PC の OS とインターネットセキュリティソフト（ウイルスバスター）のバージョンは常に最新のものにアップデートします。
- ◆最新のデジタル技術を把握するために、社員 1 名を最低年 1 回、関連セミナーに出席させます。

【DX 促進のための社内体制】

- ◆DX 促進責任者：水島 アツオ
- ◆DX 促進担当者：高野 幸久

【DX 促進のための社外との協業体制】

- ◆コンピューターソフトウェア販売店と定期的な情報交換を行います。

【DX 戦略推進管理】

<KPI>

- ・ ICT を活用した広島県の公共工事 100% (2025 年)
- ・ 紙の消費量削減 △30% (2025 年)
- ・ 電子メールで費やす関連ファイルやメール本文検索にかかる時間の削減
(2021 年計 20 時間 (5 分/日×20 日/月×12 カ月=1,200 分) →Chatwork への移行で 15 時間に半減)